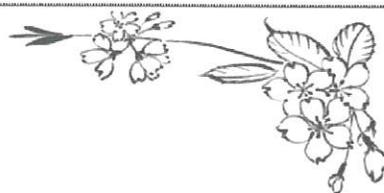


PTA会報
NO.32

さくら



編集・発行 2022年 3月 7日
神河中学校 PTA文化・研修部

思い出深い中学校生活

PTA副会長 佐想 亜紀

早いもので、もう中学校3年間が終わろうとしています。今年度も新型コロナウイルスの脅威が続いたままの生活。様々な行事が例年通りにはいきませんでした。しかし、学校では感染防止対策を行いながら、子ども達には多くの体験・経験をさせていただきました。中学校での一大イベント、修学旅行にも行くことができ、本当に感謝しております。

トライやる・ウィークはできませんでしたが、地域の方々との交流から自分が住んでいる地域の歴史など様々なことを学ぶことができました。生徒会では、学校のきまりを変えるんだと意気込み、みんなで知恵を出し合っている姿に友達との関わりの中での成長をみることができました。色々な人の支え、関わりがあつての子ども達の成長なのだとしみじみ感じさせられました。

3年間お世話になった中学校をまもなく巣立っていきます。先生、友達、先輩、後輩、地域の方々に支えられて過ごした中学校生活。コロナ禍で我慢しないといけないこともたくさんありましたが、今できることの中でいかに楽しむか、ベストを尽くせるか、ポジティブに考えることの大切さを学んだのではないかと思います。この経験はこれからの人生できっと役に立つことでしょう。

最後になりましたが、PTA会員の皆様、校長先生をはじめ諸先生方、多くのご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。





ファミリーカーからの卒業



神河中学校校長 古河 享正

神河中学校11回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この学年とは、1年生の頃ほんの少しの間でしたが私も授業にも参加させていただいていたので思い出に残る学年です。また、2年生から3年生にかけての2年間は、コロナ感染症の影響を受け、特に中学校生活最大のイベントである修学旅行でも苦心した学年でもありました。

PTA役員の方々、PTA会員の皆様におかれましても各行事の縮小等でご迷惑をおかけしました。特に、刻々と変化する感染状況への対応から、急な予定変更も多々ありましたが、多くの皆様からのご理解とご協力を頂いたことに感謝申し上げます。この原稿を書いている現在もオミクロン株が猛威をふるい、兵庫県における感染者数も過去最高を更新しているところです。しかし、そのような逆境にも負けず、部活動での活躍や修学旅行などの行事を成し遂げ、進路に向かって邁進する11回生は、持ち前のエネルギーを発揮して神河中を支えてくれた学年でした。

私事ではありますが、この3月で末の子が高校を卒業します。「子育てもこれでひと段落かな？」というモヤっとした思いがよぎり、寂しい気分です。時を同じくして、15年以上乗り続けてきた自分の車を廃車処分しなければならなくなりました。車好きでもなく、こまめに洗車や車内清掃をするわけでもないのですが、いざ手放すとなると名残惜しくなっています。思い返すと3人の子どもの成長と共に歩んでくれた車です。子どもが幼い頃は、どこに行くにも家族5人でワイワイ言いながら乗っていた文字通りのファミリーカーでした。中学校に上がって以降は、部活動の応援や塾の送迎、休日に外食する際などに利用する以外は、子どもたちと一緒に車に乗る機会はすっかり減り、役割はタクシー代わりとなりました。しかし、家では会話が少ない子どもたちも、車の中では愚痴や悩み事などをポロっと漏らしてくれる貴重な場所でもありました。今では3人の子どもたちが揃って乗ることはほとんどありません。そして、4月からは一緒に乗ってくれる子どもがいなくなることを考えると、次の車をどうすれば良いのか悩んでしまいました。

今振り返って、子育てには「空間」がとても大切なんだなということを思います。幼い頃は家族みんなが同じ場所で生活できるワンボックスカーのような空間。そして成長が進んでくると、個々の子どもと落ち着いた本音の会話の出来るセダンカーのような空間。そして、成人してからは子どもたちもそれぞれの車を持ち、独立して生活できる軽四のような空間が必要なのだと思います。このことは、子どもとの距離感とも言い換えられると思います。親から自立していこうとする子どもに対して、いつまでもファミリーカー的な距離感でずっと接するわけにはいきません。逆に家族と十分な時間をとる必要があるにもかかわらず、一人一人に高級車を与えるような接し方をしているといけないということです。

我が家では今、2番目の娘が免許取得に向けて自動車学校に通っています。末の娘も間もなくでしょう。子どもたち一人一人が車を運転するようになった時、親として「ひと段落だな。」と実感するかもしれません。



潜在能力を引き出せ



3年主任 松井 英人

11回生もあと数日で卒業の日を迎えます。振り返ると、特に3年生になってからは、最上級生として、学校行事や部活動で心身ともに成長したと感じています。

新型コロナウイルスの影響は2021年度も暗い影を落とし、修学旅行が2度延期になりました。体育大会も午前中開催、暑い中でのマスクの着用、「昨年引き続き…」ではなく、新たなルールやマナーが生まれ、その度に、順応していかざるを得ない状況が続きました。

様々な行事を開催するにあたっては、保護者の皆さまにもご心配をおかけいたしました。ご理解とご協力を頂けたおかげでスムーズに行事を進めることができました。本当にありがとうございました。

先の見えない学校生活でしたが、11回生のみんなはやるべきことを、精一杯やり遂げてくれました。3年生最後の総体では優秀な成績を残し、クラスが団結して成功させた体育大会。修学旅行は全員参加。各クラスが素晴らしいハーモニーを響かせてくれた合唱コンクール。11回生は、いつも仲間を大切に、誰にでも思いやりを持った行動ができることが胸を張って自慢できる所です。3年生になってからは、特にクラスや学年としてのまとまりが強まり、支え合い、励まし合える学年に成長しました。

私は皆さんと3年間共に生活をしてきて、常日頃感じていることは、皆さんの中にはもっともっとたくさんの可能性を秘めているということです。これまで培った仲間を思いやる心や団結する力を大切にしながら、中学校3年間では発揮できなかった潜在能力を新たなステージで引き出し、新しい仲間と共に新しい自分に出会ってほしいと思います。もし、自分を見失いそうになったときは、神河中学校11回生と過ごした日々を振り返り、次の一步を踏み出す原動力にしてください。立派に成長し、地域や社会に貢献する人になってくれることを期待しています。

保護者の皆さまも、地域の一員として、彼らを見守り続けてやってくださいますようお願いいたします。



「礼法指導」

2022年1月31日、姫路女学院高校の石本先生をお招きし、礼法を含めた面接での心構えなどを教えて頂きました

3年生



面接は丁寧に話して深く礼をすればいいものだと安易な考えをしていた僕は、今日の授業でいかに僕の考えが甘かったか、浅はかだったのかを痛感した。面接では、礼をするときの角度だったり椅子に座る際の足の位置、歩き方など面接の難しさを認識した。礼では礼によって角度が違ったり、視線はなるべく面接官を見ながらしゃべるなど今後の面接で他の人との差を広げられるいい方法だと強く思い、この授業を受けてよかったと心から思った。今日習ったことを今後の面接で活かせるように今からでも面接の練習をしようと思った。

言葉遣いにもいろいろな種類があって僕みたいにただ単に「丁寧にしゃべってればいいやん」みたいな考えは非常によろしくなく、場面場面でいろいろな言葉遣いを巧みに利用していきたいと思った。

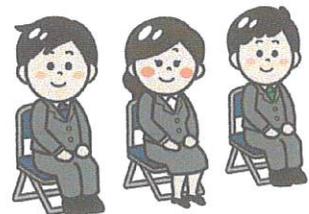


「合格したい気持ち（心）を面接官に見える動作（形）で表すことが大切」という一文にすごく納得した。僕は今後ここに行きたい、ここに就きたいと思ったとき、その気持ち（心）をしっかり面接官に行動で示していけばいいなと強く思った。今日は本当に学びの1日だったと思った。

今日の時間は面接のときや社会に出てからも役立つので本当によかったです。見える形、聞こえる形などたくさんのポイントがあったので、気を付けて練習を頑張っていきたいなと思いました。面接はすごく緊張すると思うけど、今日学んだ大切なところをしていたら自分の気持ちもしっかり伝わると思いました。相手がいい印象だったら気持ちがよくなると思うし、自分も相手によく思われてうれしいと思うから頑張りたいです。面接は初めてのことでもあるし、自分のこれからにすごく関わってくると思うからすごく力を入れて練習も頑張りたいです。

あいさつ、表情、言葉遣い、態度、身だしなみなど見られている所はたくさんあります。入室後3~30秒で合否が決まると聞いて、そうかもしれないと思いました。入室や歩くだけでもいい人はすごくいいし、姿勢がいいだけでも全然違うなと思いました。初めてのことで緊張はすごくするけど、いい経験にもなるし、自信もつくと思います。

自分のいいところをどう相手に伝えるか、自分が



なぜこの学校でないといけないのかをしっかりと伝えられるように頑張りたいです。合格したい気持ちはみんなあるし、みんな頑張っていると思うから自分がどれだけ周りの人と差をつけるかが大切だと思いました。

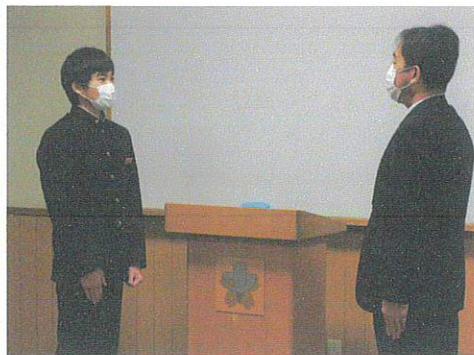


入試まであとちょっとしか日はないけど、自分に出来ることはまだまだあると思うし、自分にしか伝えられないことも出てくるんじゃないかと思いました。自分をアピールすること、自分らしい面接が出来たらいいなと思いました。中学校生活ですごく大変でしんどい時期だけど、これからの新しい生活のためにしっかりと頑張っていこうと思いました。今日はいろんなことを知れてすごくいい時間でした。受験頑張ります！

私は今回の高校入試で推薦は受けないので面接はないけれど、今後就職したりするために人生で必ず面接をすることがあると思うので、しっかり覚えておきたいです。

面接って言ってもそこまで細かいことはないやろと思っていたけど、そんなとこまで見られるんだと分かりました。入室してから30秒以内にだいたい合格が決められるということで、第一印象ってとても大切なことなんだなと思いました。日常生活においても第一印象が悪くならないように、言葉遣いや身だしなみには気を付けようと思いました。

面接の内容でも自分の言いたいことだがたくさんあっても、それをどう相手に上手に伝えるかということが重要だと分かりました。今、私は将来の夢を持っているのでそれに自信を持っていきたいです。そして、私は人と会話するとき順序がぐちゃぐちゃになって相手に伝わりにくくなってしまうので、話し方にも気を付けていきたいと思いました。



今回の礼法指導を通して、まだまだ出来ていない部分がたくさんあるなと気づきました。試験でもない限り気にかけることがないので、それを知れてよかったです。卒業式や入学式でも今回教えて下さった座り方、礼の仕方を意識して練習していけばいいなと思います。そして、意識してなくても自然と出来るようになればいいなと思いました。



スキー教室

スキー実習 in 峰山高原 & 学年レクリエーション

コロナの影響で宿泊はできなかったけど、日帰りスキーとENGEI大会で盛り上がりました。2022年1月27日&28日

2年生



僕は、スキーを1回しかしたことがなかったら、ちゃんと滑れるか不安だったけれど、丁寧に教えてもらったので、少しは滑れるようになって嬉しかったです。でも、中級コースで滑ったとき、たくさんこけてとても痛かったです。またスキーをしに行ったら、もっと上手に滑れるようになりたいと思いました。



1月27日にスキーに行きました。スキー場に着いたらヘルメットとか手袋を借りて、インストラクターの方と滑り始めました。滑る前からスキー板がはけなくて、大丈夫かなと心配になりましたが、すぐにリフトに乗ると言われました。びっくりしましたが、無事に上までついて滑り始めると、たくさんこけてしまいました。でも、自分で滑れるようになってとても楽しかったです。お昼の最後は中級コースに行きました、少し急で怖かったけど、インストラクターの方や友達に助けてもらいながら滑ることができました。最初より上手くなったのでうれしかったです。



スキー実習とENGEI大会をして、面白かったことや楽しかったことがたくさんありました。スキー実習では、みんなで笑ってワイワイしながら滑りました。遅れている人がいたとき、みんなで見ていると、自分たちのほうに突っ込んできそうでめっちゃ怖かったです。(笑)



ENGEI大会では、ダンスやコント、ピアノがあったり、前にはなかった歌やパリコレ、朗読劇があってめっちゃ面白かったです。ENGEI大会は、僕が知らない、みんなの違った一面が見られるので良いな！と思いました。

1月27日に2年生でスキー実習ができて、とても楽しかったです。私はレベル3でした。「これくらいやったら」と思い、決めただけで意外と難しくてびっくりしました。コケてばかりで「もう嫌や・・・」と思っていたけど、インストラクターの方が色々助けてくれたので中級のところは最後までコケずに滑ることができました。後半になるにつれて上手に滑ることができるようになったので嬉しかったです。実習が終了したときは少し寂しかったです。また行きたいなと思いました。



私にとっては、今年初めてのスキーに行きました。ちゃんと滑るのは4年生ぶりだったので不安でしたが、ハの字でターンしながら滑れるようになりました。疲れた後のカレーはとってもおいしかったです。午後からはリフトに乗って4回も滑りました。怖さもあつたけど、その分慣れてきて、自分でも成長を感じることができました。泊まりじゃないのは残念だったけど、とってもいい経験で楽しかったです。



次の日はレクをしました。1年生の頃に比べて、みんな進化していて驚きました。歌を聴くのが私にとって一番幸せでした。最後にダンスを踊ったけど、みんなの掛け声のおかげで最後まで楽しめました。

日帰りのスキー実習で残念だったけど、スキー実習に行けてよかったです。峰山高原リゾートホワイトピークまでバスに乗って楽しく行きました。スキー板などをレンタルした後に、インストラクターの人と班のみんなと一緒に移動して、すぐに実習をしました。初めはストックだけ使って動きました。難しく、なかなかできなかつたけど、できるようになったので、嬉しかったです。いろんなことを教えてもらって少しだけ高い所まで板をもって移動して滑りました。お昼のカレーの辛さはちょうどよくて、おいしく食べられたのでよかったです。最後の方に上手く滑れるようになったので嬉しかったです。



1年生



本年度の人権学習のまとめとしてリモートで学年人権発表会を行いました。コロナ差別、LGBT、SDGs、いじめ、SNSなどみんなで様々な問題について考えました。

人権学習

私は、人権学習で知らないことをたくさん学びました。LGBTは、SDGsにもあるように、ジェンダー平等について学びました。男の人でも、男性を好きになる。女の人でも女性を好きになる。それをバカにしたり、笑っている人がいたとき、その同性を好きになった人は、どんな気持ちだろうと授業で考えました。自分が、もしそうだったら…、絶対悲しいと感じていたと思います。相手を好きな気持ちは、すぐに変えられないし、相手をどう思うかは、その本人にしかわからないと思います。だからちゃんと向き合うことが大事だと思いました。

いじりやいじめの授業では、自分が軽く友だちをいじったりして、その本人も笑っているのとき、自分の中では「楽しい」「おもしろい」と思っているけど、いじられた人は「つらい」「悲しい」と思っているかもしれない。その人は、その場の空気にのまれて、笑っているかもしれない。私も、そんなことがあったので、気をつけないといけないと思いました。仲のいい友だちでも口に出す前に自分の中で考えて「この言葉は大丈夫かな～」と一回、心の中で考えることが大切だと思いました。

人の心を傷つけるのは本当に簡単で、たった一言で、心の傷をつくってしまいます。そのマイナスな言葉より、プラスになるような言葉を言う方が相手も傷つかないと思うし、自分にとってもプラスになると思うのでいいと思いました。相手の心を大切にしたいです。



世界各地で起こる問題、それを一人一人が解決しなければならない。いじめやSNS、コロナ差別など自分が楽しければそれでいい、相手の気持ちも考えずに自分のしたいようにする。それは、人としてダメなことだと思う。

LGBTやSDGs、社会福祉の問題などは自分が相手に優しく接し、相手のことを考える。それが自分にできることだと思う。考え方一つで新たな解決策が見つかるのだと思う。自分が人権で学んできたことは自分の未来につながるのだと僕は思いました。自分の考え方は他の人とは違うかもしれない。だからこその他の人の考えや意見を聞き、それを自分の新たな考え方にたどり着けるようにすることが大切だと思う。人権学習は自分のこれからの人生につながる一つの学習というのが改めて分かりました。これからは、自分がされて嫌なことはしない。優しく接するなど自分ができていることに最善を尽くすことが大切だと思う。

この1年間で学習した人権の内容で差別やいじめ、誹謗中傷など色々なことをやっていき、現段階で日本や世界にはたくさん問題があると感じました。学習を通じて印象に残った内容は1つあります。それは、コロナ差別です。

今、世界はコロナに陥っています。各国で感染が広がっており、日本では毎日のように「過去最多」という言葉が放送されます。感染防止のために、たくさんの対応をとっていますが、医療のひっ迫などのたくさん問題があります。約2年前に発令された緊急事態宣言や全国一斉休校では、たくさんの方が自粛しましたが、今となれば外出する人が多いです。また、新しいコロナ株などの影響で数多くの感染者が出ています。自粛の呼びかけが出ているにも関わらずに外に出たり、マスクなしでしゃべったりしている人たちは本当にいけないと思います。多くの方は「他人事」と思っていると思いますが、今ではそうではありません。自分たちでできる感染防止を意識し、呼びかけられるようになる必要があると思います。一人ひとりが徹底することで一人でも十人でも感染者を減らせるのではないかと思います。ともにコロナを乗り越えるために、差別をなくし、早く終息することを願います。

1番心に残っているのは「いじり」の学習です。理由は、人権学習をしてきた中で1番身近に感じられたからです。私は、この学習をする前は、いじめといじりを区別していました。いじめは人を傷つける、やってはいけないことで、いじりは楽しむためにからかったり、ちょっとした悪口を言ったりして、あってもいいものだと思っていました。しかし、この学習が進んでいくにつれ、「いじられている人の気持ち」を考えるようになりました。いじったらいじられている人も笑っているので「全員が楽しんでいる」と思っていたのですが、いじられている人は本当に笑っているのかを疑問に思うようになりました。悲しいことを我慢しているかもしれないと思いました。最初は、いじりといじめは違うもので区別していましたが、授業が終わるときにはいじりもいじめなんだと考えが変わりました。

この授業を通して学んだことは「相手の目と心を見て話しをすることが大切」だということです。この後にSNS（誹謗中傷）について学んだときにもいじめといじりの学習が繋がったと思います。SNSでひどいことを書いてしまうのは、

画面の向こうの相手の目と心が見えないからだと考えました。相手のことをよく知らずに、相手の考えを受け止めずに、自分の意見だけを主張してしまいがちなのが、誹謗中傷を生んでしまっているんだと思います。相手を知ろうとして相手の考えを一度受け止めるように心がけることが大切なんだと思います。字面だけの会話ではなく、心の会話をしたいです。





文化・研修部のみなさん



卒業を前に思うこと

笹倉 綾子

長女の卒業を目前に控え、中学校の3年間を思い返してみました。この3年間で長女が変わったこと、変わらなかったことは何か。入学式の日、新しい制服に身を包み、制服に着られているという表現がぴったりだったあの頃から、今はすっかり制服を着こなすまでになっています。他には、ヘアメイクが上達した。歌詞動画のクオリティーが上がった。本気で叱ると本気で逆ギレをしてくる。等々。変わらないことは、毎朝大きな声で「行ってきまーす。」と言って登校すること。鬼ごっこが好きなところ。お箸と水筒を言われるまで出さないこと。大好きな先生や友達が常にいること。です。

振り返ってみると、とても中学3年生女子とは思えない内容もありますが、一番成長を感じた今でも印象に残っている長女の発言があります。それは、コロナ禍で相次いで行事が中止になり始めた中学2年生の頃、その時は「コロナのせいで楽しみも全部奪われて我慢ばかりや!!」と怒り、なぜか私のせいだと理不尽な八つ当たりをされることもありました。それが、中学3年生の修学旅行前、まだ修学旅行が行けるか行けないかはっきりしていない時でした。娘が急に「コロナのおかげで、当たり前前のことが当たり前だと思わなくなった。もし修学旅行に行けたらそれはとても有難いことや。」と言ったのです。普段の娘からは想像もつかない発言で、いつの間にかそんな「おかげさま」の精神が身についていたのかとびっくりしました。きっと学校での先生や友達との会話の中で培われてきたのかなと温かい気持ちになりました。

娘も思春期真っ只中で、日によって機嫌の良し悪しにはムラがあり対応に困ることもありますが、今は毎日のように卒業したくないと言っています。娘が3年間楽しい学校生活を送れたのも、いつも親身になって子供たちに関わってくださった先生方、そしていつも仲良く、時には相談に乗ってくれていた友達のおかげだと思います。本当にありがとうございました。



子供たちへ思うこと



藤原 千尋

この原稿を書くことが決まってから、何を書けばいいのかと、悩みに悩んでいるうちに、締め切り日がきてしまいました。子供たちには、宿題を早くしなさい!って言うてるのに、と思いながら書いてます。そうなんですよね。自分のことは、棚に上げて、子供たちには、言ってしまう。頭ではわかっているけど、ついつい言って

しまいます。

自分が子供の頃、夏休み、冬休みの宿題を後回しにしてました。後から追い込んでくるものだから、しんどくてしんどくて。それが、わかっているから、「宿題、はよ終わらしときよ！」って言ってしまいます。が、しませんよねえ。そう！カエルの子はカエルです。

子供には、自分がしんどかったことだったり、苦勞したこと、大変だったことは、なるべくして欲しくない。親なら誰しもが思うことだと思います。でも、そう甘くない。色々経験して分かることです。

そして、3年生は、いよいよ受験です。志望校において、自分の力でいきます。今、しんどい時だけど、この経験を忘れないで欲しいと思います。これから、もっといろいろな困難なことがあるかもしれませんが、自分の力で乗り越えていって欲しいと思います。そして、たくさんの経験を積んで、素晴らしい大人になっていって欲しいと思います。

最後になりますが、先生方、3年間大変お世話になりました。ありがとうございました。



3年間を振り返って



山内 裕美

中学校3年間を振り返って、やはり一番に思うのは、新型コロナウイルスの学校生活への影響です。私たちの学年はまだ1年生の期間はほとんど通常通りの行事を行うことができました。体育大会も観に行くことが出来ましたし、部活動の大会等も応援に行くことが出来ました。2年生、3年生では保護者の観覧に制限があったり、なくなってしまう行事等もありました。子供たちも学校生活の中でいろんな制限もあったでしょうし、感染しないかという不安も抱えての生活は大変だったと思います。そんな中でも、延期、延期となりましたが、先生方のお陰で修学旅行に行けたことはとても感謝しております。子どもたちもとても喜んでいました。

このコロナ渦での経験で、今まで当たり前に出ていたことが、当たり前ではない、とてもありがたいことなんだと痛感いたしました。被害に遭われた方はとても大変な思いをされていると思います。大きな被害もなく過ごさせていただいていることに感謝し、高校生になってからも自分達の出来ることに精一杯、力を発揮してもらいたいです。

最後になりましたが、コロナ渦の大変な中、一番に生徒たちのことを考えて、いろいろな判断・決断をしてくださり、お世話になりました先生方に御礼を申し上げます。ありがとうございました。



1年間、ありがとうございました。





神河中学校 11回生のみなさん 卒業おめでとうございます！

<信楽にて撮影>

3年1組



3年2組



3年3組



3年4組

